

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称	施策Ⅱ-3-1 医療機能の確保
---------	-----------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	医療政策課長 家本 賢	電話番号	0852-22-6252
----------	-------------	------	--------------

事務事業の名称	救急医療体制の整備		
目的	(1) 対象	医療機関	
	(2) 意図	初期、二次、三次の救急医療体制を確保する。	
事業概要	救急医療体制を維持するため、以下の施策を実施 ・ドクターヘリの運航による搬送体制の強化 ・救命救急センターの維持のための運営費補助 ・医師のスキルアップのための研修事業		

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	式・定義	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			救急告示病院数	目標値		24.00	24.00	24.00	24.00
		実績値	24.00	24.00	24.00	25.00			
		達成率		100.00	100.00	104.20			%
指標名	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位		
	目標値		0.00	0.00					
	実績値	0.00	0.00	0.00					
	達成率		0.00	0.00			%		

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	285,542	355,349
うち一般財源(千円)	166,249	159,587

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

島根県ドクターヘリデータ（平成23年6月運航開始） 運航件数 H23：489件、H24：695件、H25：725件、H26：737件 中国5県広域連携による広島県及び山口県ドクターヘリの島根県乗り入れ実績（平成25年5月乗入開始） 乗入実績 H25：77件、H26：78件

6. 成果があったこと（改善されたこと）

島根県内の3次救急病院及び2次救急病院の体制は維持されている。 ドクターヘリの運航も高頻度であり、平成25年度の運航件数は全国6位の利用率となっている。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」 ドクターヘリの重複要請の増加 H23：47件、H24：86件、H25：132件、H26：145件
②困っている状況が発生している「原因」 離島や中山間地域の救急医療体制の脆弱さ
③原因を解消するための「課題」 圏域の救急告知病院と連携したドクターヘリの運航体制の構築

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

救命救急センター及び救急告示病院周辺はドクターヘリによる搬送をせず、救急車による搬送とするなどルールを構築する

◎課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）

--